

一茶ゆかりの里四季の俳句会（平成二十八年四～六月分）

選者 志やくなげ 荒井智雄 先生

特選 天 風薫る目標過ぎし万歩計 群馬県 竹渕千恵子

「目標過ぎし万歩計」が季語「風薫る」を生き生きとさせている。

特選 地 句座開く寺の濡れ縁若葉冷 愛知県 平野辰美

若葉に囲まれている寺での俳句会で黙考している様子が表現されている。

特選 人 病癒え明日は退院花は葉に 群馬県 竹渕てる子

長い入院で桜はすっかり若葉になってしまったがいよいよ退院という喜びが表れている。

入選 筥を持ちて傘寿の叔父来たる 群馬県 富沢節子

入選 男気をここで見せし初經 群馬県 滝沢照香

入選 母の日に二の膳届き祝ふ宵 群馬県 土屋はじめ

入選 あすは雨つばめが一閃弧を描く 群馬県 山口岩美

入選 百歳の散歩背押す初夏の風 群馬県 田村洋子

入選 節々の痛みも治す若葉風 群馬県 加藤幹生

入選 阿弥陀仏千年の黙花の寺 群馬県 篠原庄治